



2019年10月28日

各位

会社名 東京コスモス電機株式会社
代表者名 代表取締役社長 岩崎 美樹
(コード番号 6772)
問合せ先 常務取締役管理本部長 飯嶋正明
(TEL 046-253-2111)

2020年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年8月8日に公表した2020年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,500	480	440	300	193.51
今回修正予想 (B)	9,450	80	△50	△40	△25.80
増減額 (B-A)	△1,050	△400	△490	△340	△219.31
増減率 (%)	△10.0	△83.3	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期通期)	10,237	417	617	367	234.89

2. 修正の理由

(1) 売上高の連結業績予想について

米中経済摩擦の影響により設備投資が減退したことを受け、可変抵抗器の売上は昨年末から減少しましたが、前回の通期予想発表後も想定以上に減少し、今後もこの傾向が続くと判断しました。また、車載用電装部品はカーメーカーの生産減などを背景に想定以上に経営環境が悪化しています。以上を踏まえ、売上高の予想を10.0%下方修正しました。なお、想定為替レートは足許実勢水準 (US\$1 = 108円程度) を前提としております。

(2) 利益の連結業績予想について

営業利益は、減収により固定費の回収が遅れることに加え、当社の主力製品である民生用可変抵抗器について主要顧客の生産調整が下期に行われる見通しであること、また生産体制の見直しにより立上時、一時的に生産効率が悪化すること等の要因により83.3%下方修正しました。経常利益は、本日別に開示しました営業外費用 (為替差損) の計上に関するお知らせにある通り第2四半期連結累計期間にかかる為替損失の発生が現在の為替レートを前提としても通年で120百万円程度発生すると予想されるため、50百万円の損失を予想しております。親会社株主に帰属する当期純利益は、40百万円の損失を予想しています。

(注) 上記の予想は、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は、経済状況や製品需要の変動、為替相場の変動などによって、本資料の予想とは異なることがありうることを予めご理解下さい。

以上